2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	作文(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	502教室
担 当 教 員	瀬野　幸子	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

文法や語彙の時間に学習した文型、語彙を用いて、日記、説明文、意見文などさまざまな文が書けるようになる。資格試験に備えて、500字程度で原稿用紙を使った作文にも取り組む。作文を書くことで、文型や語彙などの理解をさらに深めたり、使い方の確認を行ったりする。その後パソコンで入力、教師が添削をする。共通の間違いについてはクラス全体でチェック、フィードバックする。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:70%
2. 宿題提出:20%
3. チェックテスト:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』『日本留学試験試験問題』から抜粋
生教材「朝日新聞日曜版Beなどから抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

毎回、授業内で作文を書き、提出、その後、担当教員から添削を受けた作文をワードで提出する。

《履修に当たっての留意点》

電子辞書を使用してもよいが、できる限り知っている語彙や文型を使い書くこと。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	(1)　復習	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	
		各コマにおける授業予定	原稿用紙の使い、段落で書けるようになる　－体験文－(1)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	(2)　3段落構成	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。
		各コマにおける授業予定	3段落で書く(2)　私のふるさと　－事実をわかりやすく書ける－		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	(3)　3段落構成	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。
		各コマにおける授業予定	3段落で書く(2)　感動したこと　－指示語を使ってわかりやすく説明できる－		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	(4)　説明文	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。
		各コマにおける授業予定	写真や実物を使い、手順を説明できる。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	(5)　ハガキ・手紙を書く	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。
		各コマにおける授業予定	礼状が書けるようになる。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	(6)　留学試験対策(1)－3段落の意見文が書ける－	『日本留学試験試験問題』	復習 添削後にリライトをし、その後ワードに入力、提出。
		各コマにおける授業予定	短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	(7)　留学試験対策(2)－4段落の意見文が書ける－	『日本留学試験試験問題』	復習 添削後にリライトをし、その後ワードに入力、提出。
		各コマにおける授業予定	短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	(8)　留学試験対策(3)－4段落の意見文が書ける－	『日本留学試験試験問題』	復習 添削後にリライトをし、その後ワードに入力、提出。
		各コマにおける授業予定	短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	(9)　メールで文が作れる。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	
		各コマにおける授業予定	宛名、所属の書き方、挨拶、依頼の表現		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	(10)　要約ができる。	生教材	
		各コマにおける授業予定	読解文を読み200字に要約をする。		